

## ケンブリッジ大学図書館蔵

### 「アストン和書目録」について（2）

虎 尾 達 哉

#### 5. 目録本文訳稿（A類）

以下、二節に分って目録本文を訳出しておくこととする。本目録の翻訳について、申請を許可されたケンブリッジ大学図書館副館長 D.J.Hall 氏ならびにお力添え頂いた同館司書小山騰氏に改めて感謝の意を表す。また、訳出に当たっては、Peter Kornicki、林望両氏の労作『ケンブリッジ大学所蔵和古書総合目録』（EJCUL: *Early Japanese Books in Cambridge University Library*）の貴重な成果を少なからず借用させて頂いたことを敬意と共に明記しておきたい。

#### 凡例

- 1) 本目録収載の書目で EJCUL 収載の書目に該当するものについては、EJCUL 使用の「通し番号」を右端に付して、参照の便宜とした。
- 2) 1) の書目のうち、アストンの蔵書印や自署、あるいはアストンへの献辞などの所在によって、明らかにアストン旧蔵書と判断されるものについては、1) の「通し番号」の横に○を付した。
- 3) 1) の書目のうち、明らかにサトウ旧蔵書と判断されるものについては、同じく S を付した。
- 4) 原目録の記載形式は必ずしも統一されていないが、本稿では、原則として、書題・編著者名・書誌（刊年・刊行地・法量・冊数・頁数など）・コメントの順に訳出した。したがって、原目録の記載順序とは必ずしも一致しない。
- 5) 本目録収載の書題と EJCUL 収載の書題とが異なるものについては、参照の便宜から、EJCUL に拠った。推定書題を [ ] で、冠称（角書）を（ ）で括ることも、EJCUL に倣った。
- 6) 編著者名についても、本目録と EJCUL とが異なる場合は、原則として EJCUL に拠っ

たが、その際は拠った箇所を[ ]で明示した。また、EJCULに該当書目がなく、『国書総目録』などに拠った場合も同様である。

- 7) 本目録には、書物の内容から、「小説」「戯曲」などのように分類表記の見られるものがある。これらの表記はコメント本文とは別に末尾に掲出した。ただし、コメント本文か分類表記かの区別が困難な場合もある。
- 8) 本目録の用箋左余白には、アストンが蔵書をBM すなわち大英博物館(The British Museum)の蔵書目録と照合したことを示す記載が見られる。本稿ではその記載をコメント本文とは別に末尾近くに配した。
- 9) 書誌の法量の数字はインチである。
- 10) 一書分の目録事項がすべて抹消されている場合は、その書題の前に〈抹消〉と記した。
- 11) 現時点で判読不能の字句は\*\*\*で表示して、後考を期すこととした。

### Case I

Shelf 1 1-95

409冊

- |   |   |        |
|---|---|--------|
| 1 | 朝鮮事情 榎本武揚 1882 (第2版) 7 1/2×5 1冊 122頁 板紙       | 1558 ○ |
|   | 朝鮮についての叙述。                                    |        |
| 2 | 朝東夢物語 年時・著者名なし 写本 6 1/2×9 1/2                 | 1407 ○ |
|   | 徳川将軍の一人による寺院建立についての噂話。                        |        |
| 3 | 征韓偉略 川口緑野 年時なし 東京 5冊                          | 1213 ○ |
|   | 秀吉の朝鮮侵略について漢文で記した史書。                          |        |
| 4 | 亜墨利加記行 井上隠岐 1862 写本 9 1/2×6 1/2 1冊            | 1581 ○ |
|   | 1860年の在米日本外交使節団の日誌。                           |        |
| 5 | 朝鮮処分纂論 福城駒太郎 1882 5×7 1冊 67頁                  | 1763 ○ |
|   | 新朝鮮政策についての考察。                                 |        |
| 6 | 顕承述略 萩原西疇 1876 東京 6×9 5冊                      | 1398 ○ |
|   | 古い史書から古代の日朝交渉・日中関係に関する重要記事を集成。                |        |
| 7 | 無人島談話 薩摩の医者 1797 写本 10 1/2×7 1冊               | 1569 ○ |
|   | 小笠原諸島についての記述。                                 |        |
| 8 | 善隣国宝記 写本 8×10 1冊                              | 1384   |
|   | 古代の日朝関係に関する史料集。 版本あり。 価値なし。                   |        |
| 9 | 山田右衛門佐口書 1638 (原本、この本は写し) 写本 紙表紙 18頁 61/291/2 | 1247 ○ |
|   | キリスト教徒の反乱に関する法廷での証言。                          |        |

- 10 異国船書附 著者名なし 1853 6 1/2×9 1/2 44頁 1405 ○  
1853年以前の諸外国の日本来訪に関する史料。
- 11 文明開化 加藤裕一 1873 東京 6×9 4冊 1998 ○  
「文明」についての方言の講義。
- 12 [琉球来聘使・阿片戦争関係文書集] (琉球人来朝記) 写本 6 1/2×9 1冊 1395 ○  
1840年の英国による広東攻撃を報告した1830年の琉球王国外交使節団  
についての記述。
- 13 商法会議の仕方 岡本[純] (英国公使館書記) 1888 東京 5×7 146頁 2090 ○  
商事会社についての論説。
- 14 明治太平記 [村井静馬] 1875 東京 5×7 4冊 1253 ○  
挿絵つき。1867-1868年の内戦の歴史。
- 15 水府公上章 源宰相[徳川斉昭] 1838 写本 6 1/2×9 1370 ○  
対外関係等に関する水戸の大名の覚書。
- 16 天草軍記 田丸貞房 年時なし 薄い 写本 1821年写 7×9 7冊 1241 ○  
1637-1638年の天草 (キリスト教徒) の反乱をややロマンティックに  
著した史書。
- 17 [筑前孫太郎漂流記] 薄い 写本 7×9 1567 ○  
外国に漂流し8年後の1771年にオランダ船で日本に帰国した水夫  
についての当局への報告書。
- 18 和漢寄文 長崎外国奉行[松宮観山] 1728 写本 8×11 3冊 1390 ○  
日本の対外関係に関する史料集。
- 19 寛永南島変 年時・著者名なし 写本 10冊 (8冊+附録2冊) 6 1/2×9 1248 ○  
17世紀における天草 (キリスト教徒) の反乱の歴史。
- 20 關邪小言 大橋[訥庵] 1857 7×10 4冊 404 ○  
ヨーロッパの思想や学問への非難。アストン『日本文学史』381頁を見よ。
- 21 隣交徴書 [伊藤威山] 1840 7×10 6冊 1389 ○  
日本の対外関係に関する国家文書の集成。天皇の書簡多数。漢文。
- 22 島原記 年時・著者名なし 7 1/2×10 3巻1冊 1235 ○  
天草のキリスト教徒の反乱の歴史。非常に趣のある古い木版本。  
18世紀初めのものと思われる。
- 23 南海紀聞 青木[定遠] 年時なし 7×10 5巻1冊 1565 ○  
この書の梗概は日本アジア協会紀要に「1764年のマレー半島における  
日本人水夫の冒険」と題して活字化された。
- 24 日本書紀通証 谷川[士清] 1762 京都 7×10 35巻23冊 1158  
古い正史である日本紀の注釈。

- 25 浦賀聞書 年時・著者名なし 写本 7×10 1/2 3冊 1409 ○  
1853年のペリーの日本遠征に関するメモ。
- 26 異国船書附 写本 6 1/2×9 1406 ○  
1806年・1825年・1849年における外国船の来日に関する公文書。
- 27 環海異聞 年時・著者名なし 写本 6×9 7冊 1580 ○  
1793年のロシアにおける日本人水夫たちの冒険。
- 28 墨竹発蒙 菅云鳳 1857 7×10 2126 ○  
水墨画における竹の描写に関する論説。素晴らしい絵多数。
- 29 「芝居をテーマとした色刷版画集」 7×10  
素晴らしい絵。
- 30 〈抹消〉草木奇品家雅見 [種樹家金太] 1824 7×10 3冊  
珍しい草木とその増殖についての論説。絵多数。
- 31 更紗図譜 稲葉通龍 1785 1888  
キャラコの染め方を豊富な模様見本をつけて論説。
- 32 「水彩画集」 年時・著者名なし 7×11 折りたたみ
- 33 神代帝都考 狭間畏三 1899 東京 1194 ○  
日本の神代の都の跡についての論説。九州の豊前か？
- 34 外国通覧 年時・著者名なし 写本 7×10 6冊 1566 ○  
18世紀後半における外国人に関する史料。
- 35 外蕃通書 近藤[周斉] 写本 7 1/2×10 1391 ○  
朝鮮・オランダ・中国・安南など諸外国に関する国家文書を公的に集成したもの。17世紀ウィリアム・アダムズの時の英国との貿易に関する文書もある。
- 36 かさし抄 吉川[彦富]・山口[高瑞] 1767 6×8 絹表紙 472 ○  
不変化詞のリスト。文法に関する書き手としては宣長以前の学派に属する。
- 37 あゆひ抄 吉川[彦富]・井上[義胤] 1773 6×8 474 ○  
文法に関する論説。
- 38 文法書 山田[对湾] 1873 6×8 1/2 489 ○  
日本語文法。一部分のみ。価値なし。
- 39 消息文例 本居宣長 1800 京都 7×10 2冊 899 ○  
手紙の言葉遣いについての論説。
- 40 残桜記 伴信友 1850 東京 7 1/2×10 2冊 1177  
14世紀の南北朝についての史的メモ。
- 41 日本書紀藻塩草 玉木[正英] 京都 6冊 1156  
日本の神代史についての注釈。

- 42 神字日文伝 平田篤胤 1819 7×10 3冊 443 ○  
 いわゆる神代文字についての論文。(これは今日からすると朝鮮の合成文字に見える)
- 43 文藝類纂 榊原芳野 1878 東京 7×10 8冊 44 ○  
 文章技法についての論説。
- 44 古道大意 平田篤胤 1824 6 1/2×9 2冊 179  
 神道についての簡潔な説明。神道研究の優れた入門書。印刷明瞭。
- 45 古語拾遺講義 久保季茲 1888 東京 5×7 1146 ○  
 807年の古語拾遺についての解説。
- 46 古語拾遺 小田清雄注 1891 大阪 6×9 1147  
 古い神話の拾遺。
- 47 古言清濁考 本居宣長 1801 京都 7 1/2×11 459 S  
 古代の単語の発音。子音の清音・濁音について。 言語
- 48 租調考 三浦千春 1869 (新版) 7×10 1/2 1900 S  
 系譜について。 国学
- 49 言文一致 物集高見 1886 東京 5 1/2×8 1/2 2冊 496  
 書き言葉と話し言葉との一致についての論説。
- 50 石上私淑言 本居宣長 1816 7×10 932 ○  
 詩についての論説。
- 51 字音仮字用格 本居宣長 1776 伊勢松阪 7×10 446 ○  
 漢字を日本の仮名で表す方式について。 言語
- 52 朝鮮年代記 曾貞幹 1763 江戸 5×7 1/2 1427 S  
 朝鮮の年代記と歴史の素描。絵若干あり。
- 53 紫文製錦 源稻彦 1807 本居宣長序 5×7 8冊 563  
 源氏物語からの抜粋。
- 54 文苑玉露 聴雨庵蓮阿 1814 5×7 2冊 896  
 本居宣長の文章から洗練された和文の散文を抜粋したもの。
- 55 釈日本紀 卜部懐賢 1301 現本の年時は不明 7 1/2×10 1/2 15冊 1155 S  
 日本の古い史書である日本紀についての古代の価値ある注釈書。
- 56 本朝能書伝 橘行精 1856 2冊 7 1/2×10 1/2 2191  
 著名な能書家を模写による実例つきで紹介したもの。BMにあり。
- 57 蜘蛛のすかき [梅井一室] 1814 大坂 6 1/2×9 476 ○  
 不変化詞についての論説。 文法
- 58 語学新書 中橋鶴峯 1833 江戸 7×10 485 ○  
 文法書。

- 59 玉あられ 本居宣長 1843 7×10 480 ○  
日本語の文語で陥りがちな誤りについての評論。 文法
- 60 小学日本文典 田中義兼 1875 東京 7×10 2冊 490 ○  
学校用日本語文法書。
- 61 語学指南 佐藤誠実 1979 東京 4冊 493 ○  
日本語文法。
- 62 古事記便要 那珂通高 1873 東京 6 1/2×9 2冊 1142 S  
古事記の要点を議論したもの。 古代史
- 63 日本書紀 1672 京都 7 1/2×10 1150 S  
神代2巻 日本紀の最初の2巻のみ。神話部分のみの内容。 歴史
- 64 篤能玉籤 六人部是香 1855 7 1/2×10 1/2 189  
語源についての著作。
- 65 標註刪修古事必読 明・丘濬著 市川清流編 E.M.サトウ序 6×9 3冊 2448 S  
古典のための辞書的一种。 BM 目録にあり
- 66 日本国開闢由来記 [一夢道人] 1858 7×10 7冊 752 S  
一般向けに挿絵を多用した早い時期の日本の歴史。 BM 目録にあり
- 67 続日本紀 立野春節 1657 京都 7 1/2×10 20冊 1163 S  
日本紀を継承した正史。その対象は文武朝から桓武朝(奈良時代)。漢文体。  
BMになし 歴史
- 68 神風遺談 菊池寛三郎 1856刊 江戸 7 1/2×10 3冊 1201  
モンゴルの日本侵略を述べた史書。挿絵あり。
- 69 建武年中行事略解 谷村[掃部]編 1732 京都 7 1/2 5冊 1865 S  
建武年間(1334-1338)の慣例・民俗の暦。
- 70 出雲風土記仮字書 大原家蔵編 1856(原本は733に編纂) 7×10 3冊 1436 ○  
出雲の地誌。古い神話を含む。
- 71 新撰姓氏録 815撰 現本1668刊 7×10 1/2 4巻合1冊 1356  
黒の木版で印刷良好。漢文。日本の主要な上流氏族の系譜を述べた名鑑。  
研究者に必須の参考文献。 BMになし 置くべし
- 72 古史成文 平田篤胤 1823 7×10 1/2 3冊 176  
日本の神話(日本紀・古事記など)の対照照合。印刷良好。
- 73 日本書紀(日本紀に同じ) 舎人親王・太安万侶 1610 7×10 15冊 1149 ○  
印刷良好。 BMにあり
- 74 日本王代一覽 林[鶯峰] 1663成立 現本1802年刊 7×10 7冊 1107 ○  
日本の歴史(日本語)。Klaprothが東洋翻訳基金のためにフランス語に翻訳。
- 75 弁疑書目録 中村富平 1710 3巻合1冊 1 ○

著者名が本当であるか疑わしい作品の書目。

- 76 宇治拾遺物語 1659 京都 6×9 15冊 572 S  
 宇治物語にもれた説話の補遺。11世紀に収集。  
 『日本文学史』119頁を見よ。趣のある挿絵つき。
- 77 宇治拾遺物語 1659 京都 6×9 15冊 573  
 76に同じ。宇治物語の補遺。風変わりな挿絵あり。古典的な説話。 BMにあり
- 78 春曙抄 ウエサカカンベイ編 1729 京都 874 ○  
 清少納言によって紀元1000年頃に書かれた枕草子を編集したものの一つ。  
 この著名な古典を注釈をつけて編集。アストン『日本文学史』104頁を見よ。  
 奥書の年紀は1674年。 BMになし 必要なし
- 79 大和物語之抄 1653 7×10 3冊 554 ○  
 10世紀の説話集を注釈をつけて編集。アストン『日本文学史』88頁を見よ。  
 BMに別の版本
- 80 平家物語評判秘伝抄 年時・著者名なし 7 1/2×10 24冊 587 ○  
 外観からは17世紀の本らしい。あの著名な平家物語の注釈書。 BMになし
- 81 平家物語 年時・著者名なし。 584 ○  
 12世紀初の古典的作品。アストン『日本文学史』139頁を見よ。この本は  
 おそらく17世紀のもの。僅かに虫損あり。
- 82 保元物語 1657 7 1/2×11 582 ○  
 原本は12世紀末にかけて葉室時長によって著された。1157年から1159年にか  
 けての内戦を記した史書。趣のある古い挿絵多数。アストン『日本文学史』  
 参照。 BMになし
- 83 駿台雑話 室鳩巢 1729 江戸 (現本1897刊 東京) 53/4×81/2 85  
 雑多な談話集。「日本精神」研究上極めて重要な著作。アストン『日本文学史』  
 258頁を見よ。
- 84 群書一覽 尾崎雅嘉 1801 現本1851刊 4 1/2×7 6冊 5 S, ○  
 極めて有益な文献目録。 BMにあり
- 85 異称日本伝 松下[見林] 1693 7 1/2×10 1/2 9冊 1387  
 中国の書き手たちが使った日本の称呼を古い時代から拾い集めたもので、極めて  
 有意義。漢文体だが、行間に訓点が付されている。 BMになし 置くべし
- 86 骨董集 山東京伝(小説家) 1813 7 1/2×10 1/2 4冊 96 ○  
 民俗・古い慣習・遊びなどについての有意義な研究成果。挿絵多数。 BMにあり
- 87 竹取翁物語解 田中大秀編 1828 7×10 6冊 541 ○  
 アストン『日本文学史』参照。ディッキンズ他によって翻訳されている。  
 BM目録にあり 目録では「オオヒデ」を「ダイシュウ」とする

- 88 竹取物語抄 小山伯鳳注編 (BM目録による) 1783 江戸 7 1/2×10 2冊 539 ○  
アストン『日本文学史』を見よ。 BMにあり
- 89 可笑記 1636 7 1/2×10 5冊 604  
儒教の特徴についての啓蒙的な随筆。 BM目録になし
- 90 (訂正標註) 方丈記 上田胤比古注編 1893 東京 第2版 6×9 紙表紙 875  
この著名な古典の便利な刊本。アストン『日本文学史』を見よ。  
BMにこの古典の刊本なし
- 91 土佐日記講義 今泉定介編 1896 東京 6×8 1/2 887  
古典。アストン『日本文学史』を見よ。 この刊本BMになし
- 92 昔男時世妝 也来 1731 6 1/2×9 5巻合本1冊 546  
古典・伊勢物語を当世風に書き直したもの。木版。古典。 BMになし
- 93 神楽催馬楽歌入文 橋守部 1841 6 1/2×9 3冊 1009 ○  
神楽として知られる一種の古い詩を多くの実例とともに論じたもの。 BMにあり
- 94 神楽催馬楽歌入文 橋守部 1841 6 1/2×9 3冊 1009 ○  
催馬楽と呼ばれる一種の古い詩についての論考。 BMにあり
- 95 万葉集美夫君志 木村正辞 1901 東京 6×9 4冊 960  
万葉集についての一まとまりの覚書。亜麻色の絹のケースから巧く出たり  
収まったりする。 BM目録になし 詩

## Shelf 2 96-199 281冊

- 96 万葉考 藤原[宇万伎]・[長瀬真幸] 1824 東京 7 1/2×10 953  
人麻呂の詩集。アストン『日本文学史』を見よ。 BM目録になし
- 96A 狂歌五十人一首 [石川雅望] 1819 8×11 1005 S  
50人の作者による滑稽な詩の詩集。 BM目録にあり (これより後の版か?)
- 97 狂歌五十人一首 [石川雅望] 1819 7 1/2×10 1/2 1004  
滑稽な詩の詩集。挿絵あり。96番と同じ内容。版型が小さい。  
BM目録23にあり これより後の版
- 97A 俳諧七部集 年時なし 17世紀末ごろ 6 1/4×8 1/2 7冊 995  
俳諧という詩の集成。アストン『日本文学史』289頁を見よ。 BM目録になし
- 98 比古婆衣 伴信友 1847 江戸 7 1/2×10 2冊 108  
日本紀その他についての覚書。 BMになし
- 99 伊勢物語 1608 7 1/2×11 2冊 543 ○  
この知られる限り最古の版本には適宜挿絵がついており、またこの本は着



色紙に印刷されているが、現在ではかなり褪せている。M.W.アンダーソンによれば、この本は恐らくは挿絵つきの版本としては日本最古の本であろう。それ故、この本は収集家の注目を引いている。

BMに1610年の版本二つあり よく似た種類。同じ本か

- 100 末賀能比連 年時・著者名なし 7×10 209 S  
 国家主義者による神道批判。 BMになし 宗教
- 101 当流小謡梁塵[集] 1764 大坂 6×8 1/2 1040 ○  
 劇詩(謡)・能・芝居からの抜萃詩集。挿絵は多いが、さして見るべきものなし。  
 BM目録になし
- 102 伊勢物語新釈 藤井高尚 1815 7×10 5冊 551 S  
 著名な古典の版本で、豊富な注釈がつく。 BMになし
- 103 伊勢物語古意 賀茂真淵 BM目録によれば、1800? 7 1/4×10 548 ○  
 BMにあり 古典
- 104 新体詩抄初編 外山[正一]・矢田部[良吉]・井上[哲次郎]訳 1884 東京 1013  
 詩の新しい形式についての試論。アストン『日本文学史』398頁を見よ。  
 BM目録になし
- 105 天地玄黄 与謝野鉄幹 1897 東京 3 1/2×5 1016  
 現代詩。この書と次番号の続編については、アストン『日本文学史』  
 およびブリタニカ百科事典参照のこと。
- 106 東西南北 与謝野鉄幹 1896 東京 3 1/2×5 1014  
 現代詩。105番を見よ。
- 107 楽天遊詩集・天来詩集 [三木天遊・繁野天来] 1897 東京 3 1/2×5 1017  
 現代詩。
- 108 露じも 岩野[泡鳴] 1901 東京 4 1/4×6 1020  
 現代詩。
- 109 花紅葉 塩井[雨江]・[武島羽衣・大町桂月] 1898 東京 第5版 4 1/2×6 1015  
 現代詩。
- 110 若菜集 島崎[藤村] 1897 東京 4 3/4×7 1/4  
 現代詩。きれいな挿絵つき。
- 111 若菜集 島崎[藤村] 1899  
 現代詩。挿絵つき。(110と同じ。やや大きめの版でより新しい印象)
- 112 夏草 島崎[藤村] 1899 東京 5×7 1/4 1018  
 現代詩。挿絵つき。
- 113 言文一致 高松茅村 1900 東京 5×7 1/4  
 話し言葉と書き言葉の一致についての論説。実例つき。49番を見よ。

